

# 学校プールにおける飛び込みによる障害事故 全事例

【事故発生年度：1983年度～2013年度(31年分)】

最終更新日 2015年6月25日

作成者 内田 良 (名古屋大学大学院教育発達科学研究科 准教授)

ウェブサイト「学校リスク研究所」 <http://www.dadala.net/>

事例ID	掲載年度	発生年度	学年	性別	保体／部活／体育祭等／特活／休憩等	障害種別	発生状況	障害の部位						備考	
								頭部	頸部	頭頸部 (頭部・頸部の両方またはその区別が困難)	胸腰部	末梢神経	歯牙		その他／不明
DV001	1985 (S60)	1983 (S58)	高1	女	保体	歯牙	当日の体育の授業は、水泳実習であった。本生徒は、プールに飛び込んだとき、目の痛みを感じたので、目をつむったため、水平に戻すのが遅れ、プールの底で口唇部を打ち、前歯を破打した。						○		
DV002	1985 (S60)	1983 (S58)	小6	男	保体	歯牙	水泳指導の評価が行われたあと、残り5分間、水の中での休憩時間になったとき、本児は後ろ空中回転をしながら水中に飛び込んだとき、足がすべってバランスを失い、前に倒れる形でプールサイドに前歯をぶつけ歯冠を破折した。						○		
DV003	1986 (S61)	1984 (S59)	中3	男	保体	精神	当日は3コースに分かれて3人ずつ飛び込むクロール泳法の指導が行われた。本生徒はスタートした際、四肢が曲がったエビ型飛び込みの状態で急角度で入水し(その距離約2m)、プールの底に頭部から激突した。教師はとっさに危険を察知し、すぐに飛び込んで助け上げ意識を確認したが、全身のしびれを訴えていた。救急車で、病院へ運び治療を続けるが、第5頸椎圧迫骨折、脊髄損傷により四肢の麻痺を残した。			○					
DV004	1986 (S61)	1984 (S59)	中3	男	保体	精神	プール指導で、入水前の準備運動を約5分間して入水した。ついで、全員にプールサイドより25mを自由型で3往復させた。この間約10分間で、続いて自由型・平泳ぎ、スタート・ターンの練習を個々にやらせていた。このときスタートの練習をしていた本生徒は、第1コーススタート台横のプールサイド(高さ11cm水深110cm)から飛び込んだがそのまま水中に沈んだ。そして沈んだままの本生徒が発見され、プールサイドに引き上げられ人工呼吸が行われた。心臓は動いているが呼吸はなく、仮死状態であったが、次第に回復し、救急車で病院へ移送した。以来2年余、頸髄損傷で両下肢の機能が全廃となった。なお、本生徒は遠くへ飛ぼうとしていたが、首は曲げていたように思うと証言しており、また、頭、顔には外傷はなく、水面で強打したか水底で打ったかは、断定できない。			○					水面の可能性



















DV122	2000 (H12)	1998 (H10)	高1	男	保体	精神	体育授業時、プールでスタートの練習中、少し高めにジャンプし、頭が下がった状態で入水した。すぐに浮き上がったが、うつ伏せの状態では動けず教諭が引き上げた。意識ははっきりしていたが、胸部から下肢にかけて知覚、運動障害があったため、医療機関に移送した。結果、脊髄障害が残った。(高1男、精神・神経1級)				○					
DV123	2000 (H12)	1998 (H10)	高2	男	部活	精神	水泳部活動時、プールで飛び込みの練習をしていた。入水直前、背中から入るような姿勢で、腕で支えきれず底面に頭頂部を打ちつけた。病院で診断し、頸椎骨折、頸椎を損傷した。(高2男、精神・神経1級)		○							
DV124	2000 (H12)	1998 (H10)	高3	男	部活	精神	釣り部の夏季合宿中、海で釣りをしていた。釣りや、砂浜で水遊びをしたりしていたが、本生徒が石垣を乗り越え、近くのホテル所有のプールに飛び込み、首を強打し負傷した。(高3男、精神・神経7級)		○							釣り部
DV125	2000 (H12)	1998 (H10)	高3	男	保体	精神	体育授業時、校外プールで水泳の授業をしていた。本生徒はプールサイドに上がっていたが、他の生徒がプールから水に入るように声をかけたため、助走をして、スタート台から飛び込んだ。その際、底面に頭部を打ちつけ負傷した。上下肢機能障害が残った。(高3男、精神・神経1級)		○							
DV126	2000 (H12)	1998 (H10)	高3	女	保体	精神	体育授業時、プールで水泳指導中、25メートルのタイム計測をしていた。本生徒の順番が来て、スタート台から飛び込んだところ、底面に手と頭部を打ちつけ負傷した。頸椎骨折、頸椎を損傷した。(高3女、精神・神経1)			○						
DV127	2001 (H13)	2000 ・ 1999 (H12・11)	小4	女	保体	精神	体育の授業中、プールで水泳の授業を行っていた際、本児はスタート台脇のプールサイドから飛び込んだが、プールの底に頭部を打ちつけたらしく、スタート直後、うつ伏せの状態水面に浮き上がってきた。		○							
DV128	2002 (H14)	2001 (H13)	中2	男	保体	精神	保健体育授業時、プールで水泳をしていて、プールサイドからプールに飛び込んだところバランスを崩し首を痛め、教諭と周囲の生徒により引き上げられた。			○						
DV129	2002 (H14)	2001 (H13)	高3	男	保体	精神	保健体育授業時、教諭の指示で水泳部の本生徒が見本を見せていた。他の生徒が泳ぎ出す前に、高飛び込みをして見せたところ、飛び込みが深すぎて頭を底で打ち、頸椎を骨折した。			○						
DV130	2002 (H14)	2001 (H13)	高2	男	部活	精神	水泳部活動中、練習終了後、数名が自主練習を行っていた。2つのコースを使用して飛び込みスタートの練習中、本生徒が2回目に飛び込んだとき、頭部をプールの底に強打し、頸髄を損傷した。			○						
DV131	2004 (H16)	2002 (H14)	中1	男	部活	精神	水泳部の活動中、練習の終盤に飛び込みをして終わろうと、本生徒を真ん中に3名がスタート台から飛び込んだ。本生徒はプールの底で頭部を打ち、スタート台から3～4mのところであつ伏せになって浮いた。他の生徒が本生徒に問い掛けたところ、体が動かないと言うので、教員に連絡し、救急車により医療機関に搬送された。			○						
DV132	2004 (H16)	2002 (H14)	中3	男	休憩等	精神	休憩時間にプールに行き、上半身からプールに飛び込んだが、プールは水深1m程と浅く、プールの底で頭部を強く打った。			○						
DV133	2004 (H16)	2003 (H15)	中2	男	保体	精神	水泳の授業中、飛び込み台からプールに飛び込んだところ、えび反りになって水中に入り、その後浮かび上がってきたが、体を動かすことができず、口だけ上を向けて呼吸をしていた。病院に搬送したところ頸椎を損傷していた。			○						
DV134	2004 (H16)	2003 (H15)	中3	男	保体	脊柱	保健体育の時間、教諭指導のもと水泳の練習をしていた。フリー練習となり、本生徒はプールのサイド側から飛び込んだところ、入水角度が鋭角だったため、頭頂部をプールの底に打ち、頸椎を損傷した。			○						



DV151	2011 (H23)	2010 (H22)	高1	男	部活	精神	自主練習中、飛び込みをした際、プールの底に頭頂部がぶつかり負傷した。	○									
DV152	2011 (H23)	2010 (H22)	高2	男	保体	精神	数名毎に順に飛び込みをしたところ、本生徒は飛び込み後に水面に出て回旋していたので、クラスメイトが異変に気づき、プールサイドに引き上げたが立てなかった。本生徒は頭頂部をプールの底に当てて頸部を損傷していた。		○								
DV153	2011 (H23)	2010 (H22)	高2	男	保体	精神	本生徒はタイム測定を行う予定で、その練習の為に準備運動・腰洗い・シャワー後に、第二コース飛び込み台からプールへ飛び込んだ時に、プールの底で頭を打ち、負傷した。	○									
DV154	2011 (H23)	2010 (H22)	中2	男	部活	精神	グラウンド練習に引き続き、筋肉トレーニングのため顧問の監督のもと、プールに入った。プールサイドから飛び込んだ際、プールの底で頭を打った。	○									バレー ボール部
DV155	2011 (H23)	2010 (H22)	高3	男	部活	脊柱	飛び込みの練習を行っていた際に、飛び込みに失敗しプールの底に頭部から首・肩を強く打ち付け動けなくなる。		○								
DV156	2011 (H23)	2010 (H22)	高3	男	特活	精神	課外指導で、プール会場の補助員として活動していた際、プールに頭から落ち、底で後頭部を強打した。	○									課外水泳
DV157	2011 (H23)	2010 (H22)	小6	男	部活	脊柱	水泳の飛び込み練習を行っていたところ、頭頂部をプールの底で打ち、肩甲骨間の上部の痛みを訴えプールサイドで様子をみた。		○								
DV158	2012 (H24)	2011 (H23)	高1	男	部活	精神	スタートダッシュ練習で4コース飛び込み台から飛び込んだ際、プールの底に頭頂部を打ち付けた。	○									
DV159	2012 (H24)	2011 (H23)	高3	男	保体	精神	本生徒は、水泳の授業での試験が終了し、生徒数名で休憩・飛び込み等をしていた。本生徒が飛び込み台から飛び込みをした時、頭部をプールの底に強打した。(頭部を強打した様子は、水中であるため誰も気付かなかった。) 異変に気づいた生徒が近寄り体をプールサイドに上げたところ、本生徒が異常を訴えたため、救急車の要請を依頼した。	○									
DV160	2012 (H24)	2011 (H23)	高3	男	保体	歯牙	体育の授業中、プールで飛び込みをしたところ、プールの底に前歯をぶつけ、前歯を負傷した。							○			
DV161	2012 (H24)	2011 (H23)	中2	男	部活	精神	部活動の練習中に、友人らと飛び込みの練習を行った。その際、プールの水面底に頭を打ち付けた。	○									
DV162	2012 (H24)	2011 (H23)	中3	男	保体	脊柱	体育の授業で水泳を行った。飛び込み台より水中へ飛び込んだところ、プールの底に頭頂部を打ちつけ、頸椎を骨折した。		○								
DV163	2012 (H24)	2011 (H23)	中2	男	部活	精神	通常の練習場所である総合プールで部活動で水泳の練習を行っていた。練習中、プールに飛び込んだ際、プール床面に体を強打してしまった。その際、自力で水面が上がってこれなくなってしまった。							○			
DV164	2013 (H25)	2012 (H24)	中2	男	保体	精神	本校にはプール施設がないので、通常の体育授業として、他の施設で水泳実習をしていた。担当教員の指導のもと自由に泳いでいた際、本生徒が6コースの飛び込み台(水面から約40cm)から飛び込み、プールの底部で頭部を強打した。	○									
DV165	2013 (H25)	2012 (H24)	高2	男	部活	精神	水泳部は大会が近いということで、事前に審査中の自主練習許可願が出ており、許可を与えていた。当日は顧問はその場に付き添っていなかったが、練習内容、時間等について練習前に事前指導をしていた。途中休憩の時に、本生徒は飛び込み台に体育座りしていた。その後キャプテンが合図後、背中をポンと押して本生徒は飛び込んだ。直後、足に違和感を覚え、助けを求めた。							○			

DV166	2013 (H25)	2012 (H24)	高1	男	保体	脊柱	準備運動、補強運動後スタート台から25mクロールまたは平泳ぎで3本おおよぐことになった。本生徒は1コースより飛び込みのイメージをして飛び込んだが真下へ飛び込んだようになりプール底に頭を打ってしまう。	○								
DV167	2014 (H26)	2013 (H25)	中3	男	保体	精神	水泳の授業で、本生徒がプールサイドから飛び込みをした際、頭部をプールの底に強打した。	○								
DV168	2014 (H26)	2013 (H25)	高1	男	部活	精神	水泳部活動の開始前に水泳部員数名とプールサイドから飛び込んで遊んでいた。本生徒が両腕を斜め後ろにして飛び込んだ際、プール底に頭頂部を強打した。体の自由がきかなくなり溺れかけたため、他の水泳部員に引き上げられた。	○								
DV169	2014 (H26)	2013 (H25)	高2	男	部活	脊柱	水泳部活動中に、飛び込みの練習をしていたところ、入水時に深く入り過ぎ、頸椎圧迫骨折をした。	○								
								○	70	78	3		1	1	13	3
									151							
									169							

上記の事例は、学校管理下のプール活動において発生した「障害」の事件事例です。次の点に留意してください。

①事例は、(独)日本スポーツ振興センターがほぼ毎年発行している『学校の管理下の死亡・障害事例と事故防止の留意点』『学校の管理下の災害』から抽出したものです。

②「事故発生年度」というのは、厳密にいうと、(独)日本スポーツ振興センターから「見舞金」が支払われた年度です。したがって、見舞金の支払いが年度をまたぐ場合(たとえば、事故発生は12月で、障害の確定が翌年の5月の場合)には、「事故発生年度」は、実際に事故が発生した年度と一致しないことになります。

③「学年」は事故発生時点の学年です。

④「事故の概要」は、(独)日本スポーツ振興センターの報告をそのまま引用したものです。したがって、事故後の裁判等のなかで争われたこと、あるいは明らかにされたこととは、内容が異なる場合があります。

⑤いわゆる「事件」性の高い事例として解釈されうるものについても、ここではすべて用語上「事故」で統一しています。